

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成23年 5月16日 午後 1時30分 開会 午後 4時19分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	山田喜一 山口陽一 清水弘子 三澤龍夫 鈴木京子 百瀬恵美子 奥津勝子 高橋英俊 浅輪いつ子 竹内恵美子 坂田よう子 土橋秀雄
4 説明員	町長 中崎久雄 教育長 依田勝也 鈴木首席理事 二挺木理事 相田理事 岩本総務課長 齋藤副主幹 和田町民課長 露木副主幹 佐野スポーツ健康課長 瀬戸副主幹 吉田副技幹 加藤財政課長 宮代副主幹 大隅子ども育成課長 増尾子育て支援室長 森田政策課長 原危機管理対策室長
5 職務のため出席した職員	局長 飯田 隆 書記 田中恵子
6 協議等の事項	(1) 議会報告会のまとめについて (2) その他
7 その他	

(1) 町長あいさつ

「街頭見守り」、「町営月京住宅建替工事現場で発生した事故」、「クールビズ期間の拡大」、「本庁舎玄関ロビーの壁面塗装」、「東日本大震災被災地01 支援のための職員派遣」、「海拔マップ」、「節電対策」、「なぎさの祭典中止」、「旧吉田茂邸再建」、「美化キャンペーン」、「アジリティー（犬の競技）」に関する最近の町の動きについての話があった。

◎主な質疑

問. アジリティー大会は町HPでは中止となっており、施設のHPでは占有のため使用できないとなっているが。

答. 町HPを確認する。

(2) 町報告事項

ア 「卓話集会」の開催について

町内24地区の区長へ依頼し、地区ごとの要望を事前に提出してもらい、地域が抱える問題や課題などについて話し合う他、「災害に強いコミュニティづくり」や「地域の魅力」等をテーマに、7月を目途に全地区回るようにするとの報告があった。

◎主な質疑

問. 卓話集会は参加人数が少ないのか。今までの対話集会とは違うのか。

答. 多くの町民の意見を町政に取り入れたいという目的は同じ。事前に意見などを伺い、できる限り当日に答えを出すよう努力する。

問. 今後は地域にあったテーマで実施していくとあるが。

答. 第1回目なので、防災にテーマを絞って「卓話集会」という名称で実施する。秋以降に第2回目を地域個別のテーマで行いたい。

問. 24地区のうち、合同で実施する地区等はあるのか。

答. 第1回目は24地区全てで開催したい。第2回目以降は、テーマが同じ場合、合同開催もあり得る。

問. 開催時間設定が1時間半となっているが、質疑の時間がないのでは。

答. 土曜日の開催も考えている。30分延びるような活発な話し合いにしたい。

問. 時間を気にする人もいる。

答. その場の雰囲気を読み取り、みんなの手によるまちづくりを進めて行きたい。

イ 「おあしす24 健康おおいぞ」の実施について

現在までの実施状況と今後の実施予定(スケジュール)について報告があった。

◎主な質疑

問. 事業計画はいつ作成したのか。医幹は出かけられているのか。医幹の話とあるが、保健師や管理栄養士がしてはいけない内容なのか。

答. 事業計画は4月に入って作成。医幹の帯同はしていない。関わり方について最終的な詰めに入っている。医幹は診断はできないが、知識や経験に基づき、質の高い保健指導ができると考えている。

問. 医幹の現在の業務内容は。

答. おあしす24への関わり方を保健師等と確認している他、町内団体や新規採用職員への健康や病気に関する講演会を開催している。

問. スケジュールを見ると、開催した地区で再度開催の予定が組まれている反面、組まれていない地区もある。開催した地区の意見等をまとめて区長会等へ周知したり、開催していない地区へ周知したりしているのか。

答. 地区での意見は保健師が報告書を作成しており、全町的に共通する内容もあるので、地区へ意見を戻すなど、今後の健康増進に活かして生きたい。

ウ 平成23年度大磯町一般会計補正予算(第1号)(案)の概要について
緊急雇用創出特別対策事業に関連して、役場本庁舎駐車場の管理について庁内で検討した結果、人員配置を継続し、2名から1名体制、7月～10月の土・日・休日の利用時間を延長するとの報告があった。

◎主な質疑

問. 役場本庁舎駐車場の管理について、高齢者の雇用は考えているか。生きがい事業団が法人化になるような指導はしているのか。

答. 平成24年4月1日には法人化するように指導していく。

エ 子ども手当の予算対応について

9月まで延長され10月以降は未定であるとの報告があった。

オ その他

海拔マップの見方、活用の仕方について説明があった。

◎主な質疑

問. 電信柱に海拔が表示されているが、貼っているところの基準は。

答. 現在は30ヵ所、10メートル未満の低地に貼っているが、網羅できていないので、今後拡大していく。下水道の蓋を測量しており、近い電信柱に貼っている。

問. 今後どのような順番で表示をつけていくのか。

答. 予算措置がされた後に、10メートルから20メートルの間にもつけていく予定である。

問. 防潮堤の海側に砂が溜まっている。町はどう考えているか。

答. 砂の除去で防潮堤の機能を確保できるので、県と調整していく。

問. マップを配布するのは区長だけか。

答. まずは区長へ配布し、補正予算後は増刷して配布していきたい。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

ア 委員長等からの報告

- ・ 5 / 16 議会運営委員会の概要・・・百瀬委員長
- ・ 4 / 26 福祉文教常任委員会・協議会の概要・・・奥津委員長
- ・ 5 / 11・12 福祉文教常任委員会行政視察・・・奥津委員長
- ・ 4 / 28 総務建設常任委員会協議会の概要・・・高橋委員長
- ・ 5 / 10 ごみ処理広域か検討特別委員会の概要・・・清水委員長
- ・ 4 / 25 農業委員会総会の概要・・・鈴木議員
- ・ 5 / 9 町長等と議長・副議長との懇談会・・・山田議長

(5) 協議事項

ア 定例会での室長の出席とプロジェクターの使用について

町側から6月定例会の一般質問の際、補助説明者として室長の出席及びプロジェクターの使用について打診があり、協議を行い、町民への分かりやすい説明をしていくという点で、認めていくこととした。

◎主な意見

- ・ 課長が答弁できることが望ましいが、補助説明者として誰を出席させるのかは町長の指示の範疇である。
- ・ 答えられる職員が出席するというのではなく、課長として議員の質問に答える限りは、毅然とした態度で出席するよう、職員の質の向上、意識改革をして欲しい。
- ・ 会議録を作成する場合には見て分かる、聞いて分かるようにしなければならないので、プロジェクターの使用の際はその点に気をつけて、読み上げはきちっとするようにして欲しい。
- ・ 時間配分もよく考えて欲しい。

イ 議会報告会のまとめについて

議会だよりに議会報告会の内容を掲載するので、記録係を中心にアンケートや質疑応答の概要をまとめていくこととなった。

ウ 議会報告会の反省、議員報酬等検討特別委員会のまとめについて

◎主な意見

- ・ 議員は町民に答弁する際に、数字的にきちっとした裏づけを持った者が答える等、頭に入っている数字で即答しないようにしていきたい。
- ・ 政務調査費に12万円、委員会の費用に6万円というふうに分けた方がいいのではないか。
- ・ 政務調査費と委員会の費用を分け、委員会の費用の中で専門の先生を

- 呼び、議案に対する考え方や、政策的な勉強をしていったらどうか。
- ・ 期末手当を職員と足並みを揃え、政務調査費はもう少し検討してはどうか。
 - ・ 新条例を提案するとか、議会としての活動を町民に具体的に見せることで、費用対効果として町民に理解を得られると思う。

(6) 事務局からの報告

- 一般質問通告書の様式の変更
- 賛否結果をホームページに掲載
- その他
 - ・ 次回の議員全員協議会は、6月16日(木)午後1時30分からの予定